

2021年11月実施
第16回
農業簿記検定[®]
2級問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から23頁まで印刷**しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
 - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 以下の文章のうち、誤っている文章が一つある。その文章の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 原価計算は、原則として費目別計算、部門別計算、製品別計算の計算段階を経て行われる。
2. 原価計算の目的には、公開財務諸表作成目的、原価管理目的、利益計画目的などがある。
3. 製品の生産形態（生産方法）の相違によって、個別原価計算又は総合原価計算のいずれかが適用される。
4. 原価は、製造原価を意味する場合と製造原価に販売費及び一般管理費を加えた総原価を意味する場合がある。
5. 非原価項目とは、製造原価に含まれない販売費及び一般管理費のことを指す。

問題 2 次の取引の仕訳を行い、さらに材料勘定への転記と締切りを行い、空欄 (①) ~ (⑤) に入る正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

当社は種苗費を材料勘定を用いて処理している。なお、実際消費量を継続記録法、消費価格は予定消費価格@175円を採用している。また、月末において実際消費価格を先入先出法によって計算している。

- 5月 1日 前月繰越 種苗 300kg @170円 51,000円
- 8日 種苗 144,000円 (800kg) を掛で購入した。
 (借) (材 料) 144,000 (貸) (買 掛 金) 144,000
- 13日 種苗 550kg を生産指示書 No.1 に出庫した。
 (借) (仕 掛 品) (①) (貸) (材 料) (①)
- 23日 種苗 350kg を間接材料費として出庫した。
 (借) (②) (?) (貸) (材 料) (?)
- 31日 種苗の材料消費価格差異を計上した。
 (借) (材料消費価格差異) (③) (貸) (材 料) (③)
- 31日 種苗の月末実地棚卸量は175kgであり、棚卸減耗費を計上した。
 (借) (④) (⑤) (貸) (材 料) (⑤)

材		料	(単位:円)
5/1	前月繰越	51,000	5/13 仕掛品 (①)
8	買掛金	144,000	23 (②) ?
			31 材料消費価格差異 (③)
			" (④) (⑤)
			" 次月繰越 31,500
		<u>195,000</u>	<u>195,000</u>
6/1	前月繰越	31,500	

【選択肢】

	①	②	③	④	⑤
1	96,000	仕掛品	1,500	製造間接費	4,500
2	96,000	製造間接費	4,500	仕掛品	4,375
3	96,250	製造間接費	1,500	製造間接費	4,500
4	96,250	仕掛品	3,000	仕掛品	4,375
5	96,250	製造間接費	4,500	製造間接費	4,375

問題 3 以下の〔資料〕に基づき、空欄（①）～（④）に入る正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

A農場は、原価計算における労務費の計算にあたって実際消費賃率を採用している。次の取引の仕訳を行い、さらに賃金手当勘定への転記と締切りをしなさい。

7月 1日 作業員の前月末未払額は180,000円であった。

(借) (①) 180,000 (貸) (賃金手当) 180,000

25日 作業員の当月支給総額は2,150,000円であった。なお、預り金130,000円を差し引き2,020,000円を現金で支払った。

(借) (賃金手当) 2,150,000 (貸) (預り金) 130,000
(現金) 2,020,000

31日 作業員の実際就業時間の内訳は次のとおりであり、実際消費賃率は1時間当たり1,100円であった。

直接作業時間 1,700時間 間接作業時間 240時間 手待時間 (②)時間

(借) (仕掛品) ? (貸) (賃金手当) 2,200,000
(③) (④)

31日 作業員の当月末未払額は230,000円であった。

(借) (賃金手当) 230,000 (貸) (①) 230,000

		賃金手当		(単位：円)	
7/25	預り金	130,000	7/1 (①)	180,000	
〃	現金	2,020,000	31 仕掛品 (?)		
31	(①)	230,000	〃 (③) (④)		
		<u>2,380,000</u>			<u>2,380,000</u>

【選択肢】

	①	②	③	④
1	前払費用	160	仕掛品	264,000
2	未払費用	60	製造間接費	330,000
3	未払費用	160	賃率差異	264,000
4	前払費用	60	製造間接費	330,000
5	未払費用	60	賃率差異	330,000

問題 4

B農場における当月の製造経費に関する(1)～(4)の取引の仕訳を行い、その結果として当月の製造経費についての製造間接費勘定の借方の実績集計額を求めなさい。空欄(①)～(⑤)に入る正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

ただし使用する勘定科目は、下記の中から適切な科目を選択し、これ以外は使用しないこと。

(1)～(4)の取引以外はなかったものとする。

材 料 費	仕 掛 品	未 払 金	製 造 間 接 費
地 代 賃 借 料	修 繕 費	作 業 委 託 費	減 価 償 却 費

- (1) 作業委託費は、前月末未払額が45,000円あり、当月支払額は150,000円であった。また、当月末における未払額は38,000円であった。この作業委託費のうち、当月のジャガイモにのみ要する作業委託費は40,000円であり、残額は他の作物にも共通して要する経費であった。

(借) (①) 40,000 (貸) (作業委託費) (②)
 (借) (製造間接費) ?

- (2) 修繕費に計上した年間見積額は144,000円であり、その月割額を製造間接費に振り替えた。

(借) (製造間接費) ? (貸) (修繕費) ?

- (3) 減価償却費の年間見積額は300,000円であり、その月割額を製造間接費に振り替えた。

(借) (製造間接費) ? (貸) (減価償却費) ?

- (4) 農業用施設の賃借料は、前月末前払額が12,000円あり、当月支払額は18,000円であった。また、当月末における前払額は15,000円であった。当月消費額を製造間接に振り替えた。

(借) (製造間接費) ? (貸) (地代賃借料) (③)

- (5) 動力光熱費の当月支払額は130,000円であり、当月測定額は125,000円であった。当月消費額を製造間接費に振り替えた。

(借) (製造間接費) (④) (貸) (動力光熱費) (④)

- (6) 当月の製造間接費勘定の借方の実績集計額 (⑤) 円

【選択肢】

	①	②	③	④	⑤
1	仕掛品	143,000	15,000	125,000	280,000
2	材料費	157,000	21,000	130,000	324,000
3	材料費	143,000	15,000	125,000	280,000
4	仕掛品	143,000	15,000	130,000	285,000
5	仕掛品	157,000	21,000	130,000	305,000

問題 5 当農園では、実際個別原価計算を行っている。以下の指示書別原価計算表に基づいて、仕掛品勘定および製品勘定を作成し、空欄（①）～（④）に入る金額として正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、期首に製品（ホウレンソウ）724,500円が倉庫に存在したが、全て当期に引渡済みである。

〔指示書別原価計算表〕（単位：円）

	青ネギ	カボチャ	ホウレンソウ	ハクサイ
期首仕掛品原価	540,000	—	—	
直接材料費	213,000	312,000	229,000	129,000
直接労務費	115,000	210,000	254,000	135,000
製造間接費	166,750	304,500	368,300	195,750
合計	1,034,750	826,500	851,300	459,750
備考	収穫・引渡	収穫・引渡	収穫、未引渡	未収穫

〔勘定〕（単位：円）

仕掛品			
前期繰越	()	製 品	(①)
直接材料費	()	次期繰越	()
直接労務費	()		
製造間接費	()		
	()		(②)
製 品			
前期繰越	()	売上原価	(③)
仕 掛 品	()	次期繰越	(④)
	()		()

【選択肢】

	①	②	③	④
1	1,861,250	3,172,300	1,861,250	459,750
2	2,712,550	3,896,800	3,437,050	851,300
3	2,712,550	3,172,300	3,437,050	851,300
4	2,712,550	3,172,300	2,585,750	851,300
5	1,861,250	3,896,800	2,585,750	459,750

問題 6 当社は、みかんの栽培を行っている。次掲の取引の仕訳を行った場合の空欄（①）～（④）の内容として、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

(1) 当期より、新品種であるみかん果樹の育成を開始した。当期における作付けの種苗費は120,000円であった。(単位：円)

(借) (①) 120,000 (貸) (買掛金) 120,000

(2) (1) の種苗の育成のために、当期に購入した肥料費は60,000円であった。(単位：円)

(借) (肥料費) 60,000 (貸) (買掛金) 60,000

(3) 決算につき、みかん果樹の育成費用について計算を行ったところ、総額360,000円であった。(単位：円)

(借) (②) 360,000 (貸) (③) 360,000

(4) 従来から育成を行っていたみかん果樹が、成熟の樹齢に達したため、成熟樹について減価償却資産に振替計上する(育成仮勘定残高：600,000円、当期の育成費用120,000円)。(単位：円)

(借) (生物) 720,000 (貸) (②) 600,000
(貸) (③) 120,000

(5) 決算につき、減価償却費36,000円を計上した。記帳方法は直接法によること。(単位：円)

(借) (減価償却費) 36,000 (貸) (④) 36,000

【選択肢】

	①	②	③	④
1	種苗費	育成仮勘定	育成費振替高	減価償却累計額
2	育成仮勘定	育成費振替高	製造間接費	生物
3	種苗費	育成費振替高	育成仮勘定	生物
4	種苗費	育成仮勘定	育成費振替高	生物
5	育成仮勘定	育成仮勘定	製造間接費	減価償却累計額

問題 7

当農家は大根を栽培している。10 a あたり、5,000 本の大根を収穫することを予定しており、生産指示書（標準原価カード）は以下の通りであった。大根 1 本当たりの標準原価と直接材料費の価格差異および数量差異を算定し、その正しい組み合わせの番号を一つ選びなさい。なお、原価差異の算定にあたり不利差異の場合には「不利」、有利差異の場合には「有利」と記載している。

【生産指示書（標準原価カード）（5,000 本）】

種 苗 費	700 円／袋	×	200 袋	=	140,000 円
直接労務費	1,100 円／h	×	60 h	=	66,000 円
製造間接費	1,300 円／h	×	60 h	=	78,000 円
合 計					<u>284,000 円</u>

【種苗費（直接材料費）の実績に関する資料】

715 円／袋×210 袋=150,150 円

【選択肢】

	大根 1 本当たりの標準原価	価格差異	数量差異
1	56.8 円／本	3,000 円（不利）	7,150 円（不利）
2	56.8 円／本	3,150 円（有利）	7,000 円（有利）
3	56.8 円／本	3,150 円（不利）	7,000 円（不利）
4	58.83 円／本	3,150 円（有利）	7,000 円（有利）
5	58.83 円／本	3,000 円（不利）	7,150 円（不利）

問題 8

当社は稲作を行う農企業である。生産規模（作付面積）は最大 300 a であり、1 a 当たりの農地から 60 kg のコメが生産される。次の資料に基づき、損益分岐点変動益が 1,500,000 円であった場合の①固定費を求めなさい。更に、②希望営業利益が 450,000 円とした場合の希望営業利益達成変動益と、③その場合の希望営業利益達成作付面積を求め、(①) ~ (③) の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

変動益単価 : 7,500 円/a
 変動費単価 : 1,500 円/a
 固定費 : ? 円

【選択肢】

	①固定費	②希望営業利益 達成変動益	③希望営業利益 達成作付面積
1	1,200,000 円	2,062,500 円	275 a
2	1,200,000 円	1,650,000 円	220 a
3	1,500,000 円	2,062,500 円	275 a
4	1,200,000 円	2,062,500 円	215 a
5	1,500,000 円	1,950,000 円	260 a

問題 9

当社はリンゴを栽培する農家であり、栽培したリンゴを箱に詰めて消費者に直接販売している。営業利益を確保していく観点から、損益分岐分析を行っている。今期も利益計画を試算した。次の資料に基づき、今回の試算において、安全余裕額が1,000,000円で安全余裕率が40%であった場合の①固定費の金額、②この場合の営業利益額、③損益分岐点比率を求め、（①）～（③）の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

変動益単価 : 5,000 円/箱
 変動費単価 : 1,500 円/箱
 固定費 : ? 円

【選択肢】

	①固定費	②営業利益額	③損益分岐点比率
1	1,050,000 円	700,000 円	60%
2	1,750,000 円	600,000 円	40%
3	1,750,000 円	750,000 円	60%
4	1,050,000 円	1,050,000 円	60%
5	1,050,000 円	1,750,000 円	60%

問題 10

次の入金伝票、出金伝票、振替伝票より各勘定口座へ転記した場合の①～③に当てはまる金額として正しいものの組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

入金伝票	No.101
X年9月8日	
製品売上高	(各自推定)

出金伝票	No.201
X年9月25日	
肥料費	(①)

振替伝票	No.305
X年9月12日	
普通預金	59,400
売掛金	59,400

現金

日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
9/8	入金伝票	101	32,400		借	121,500
	25	出金伝票		49,500	借	72,000

普通預金

日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
9/9	振替伝票	302	82,300		借	(②)
	12	振替伝票	(各自推定)		借	325,000

売掛金

日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
9/12	振替伝票	305		(各自推定)	借	120,700
	28	振替伝票		74,800	借	45,900

製品売上高

日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
9/8	入金伝票	101		(③)	貸	128,600
	24	振替伝票		23,700	貸	152,300

肥料費

日付	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
9/25	出金伝票	201	(各自推定)		借	44,200
	30	振替伝票	85,100		借	129,300

【選択肢】

	①	②	③
1	49,500	265,600	32,400
2	49,500	384,400	32,400
3	44,200	82,300	128,600
4	49,500	82,300	128,600
5	44,200	265,600	32,400

問題 11

次の乳用牛Aの育成に関する取引の仕訳について、(①) ~ (③) にあてはまる勘定科目または金額として正しいものの組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔仕訳〕

1. 前期より乳用牛Aの育成を開始した。前期における乳用牛Aの育成に要した飼料費は295,000円であった。なお、飼料の代金は未払いとなっている。

(飼 料 費) 295,000 (買 掛 金) 295,000

2. 前期において、上記1. 以外で乳用牛Aにかかった育成費用を計算したところ323,000円であり、決算整理の仕訳を計上した。

(①) (②) (育成費振替高) (②)

3. 当期において乳牛Aが、初産の分娩をし搾乳を開始した。なお、乳用牛Aの分娩までの当期の育成費用は553,000円である。

(③) (②) (①) (②)
 (③) 553,000 (育成費振替高) 553,000

【選択肢】

	①	②	③
1	育成費用	323,000	生物
2	育成仮勘定	618,000	生物
3	生物	618,000	育成仮勘定
4	育成仮勘定	618,000	育成費用
5	育成費用	323,000	育成仮勘定

問題 12

次の〔資料〕に基づき、圧縮記帳をした田植機の取得年度（X1年4月1日からX2年3月31日）の①減価償却費と②期末帳簿価額を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔資料〕

田植機の取得価額	4,000,000円
取得日	X1年11月22日（同日より使用開始）
償却方法	定率法（償却率：0.357 改定償却率：0.500 償却保証率：0.05496）
農業経営基盤強化準備金に関する事項	(1) 上記機械装置の取得に伴い、農業経営基盤強化準備金を2,000,000円戻し入れる。 (2) 農業経営基盤強化準備金戻入額と同額の固定資産圧縮損を計上する。

【選択肢】

	①	②
1	595,000円	3,405,000円
2	714,000円	1,286,000円
3	297,500円	3,702,500円
4	595,000円	1,405,000円
5	297,500円	1,702,500円

問題 13

次のリース取引に関する記述のうち、誤りの記述の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

- A リース取引がファイナンス・リース取引と判定される場合は、「解約不能のリース期間中のリース料総額の割引現在価値が、見積現金購入価額のおおむね 90%以上であること」及び「解約不能のリース期間が、当該リース物件の経済的耐用年数のおおむね 75%以上であること」の 2つの要件のうちいずれかを満たす場合である。
- B 所有権移転ファイナンス・リース取引におけるリース資産は、自己所有の固定資産に準じて減価償却の計算を行う。
- C リース債務は、貸借対照表上、貸借対照表日後 1年以内に支払いの期限が到来するものは流動資産に、貸借対照表日後 1年を超えて支払いの期限が到来するものは固定資産に表示する。
- D オペレーティングリース取引にかかるリース料の支払いを行った場合、借方の勘定科目をリース債務として仕訳を計上する。

【選択肢】

- 1. A B
- 2. B C
- 3. C D
- 4. A D
- 5. B D

問題 14

次の資料に基づいて (1) 税込方式、(2) 税抜方式による仕訳をそれぞれ行う場合、下記の (①) ~ (③) に当てはまる勘定科目または金額として正しい組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。なお、今期の取引はこれ以外無いものとする。

1. 農業資材を 165,000 円 (税込) で掛けで購入した。

(1) 税込方式

(借) 諸材料費 (①) (貸) 買掛金 (①)

(2) 税抜方式

(借) 諸材料費 (各自推定) (貸) 買掛金 165,000
(各自推定) 15,000

2. 収穫した農産物を 540,000 円 (税込) で掛けで売り上げた。

(1) 税込方式

(借) 売掛金 (各自推定) (貸) 製品売上高 (各自推定)

(2) 税抜方式

(借) 売掛金 540,000 (貸) 製品売上高 (各自推定)
(②) (各自推定)

3. 決算において、消費税の納付額が 25,000 円と算出され、未払消費税等の計上仕訳を行った。

(1) 税込方式

(借) (③) 25,000 (貸) 未払消費税等 25,000

(2) 税抜方式

(借) (②) 40,000 (貸) (各自推定) 15,000
未払消費税等 25,000

【選択肢】

	①	②	③
1	150,000	仮受消費税等	租税公課
2	150,000	租税公課	仮払消費税等
3	165,000	租税公課	仮払消費税等
4	165,000	仮払消費税等	租税公課
5	165,000	仮受消費税等	租税公課

問題 15

次の〔文章〕中の①～③に当てはまる語句の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔文章〕

農業経営基盤強化準備金は、租税特別措置法上の準備金である。税務上、（ ① ）申告をする認定農業者等が、経営所得安定対策などの交付金を受領して農業経営基盤強化準備金として積み立てた場合、その交付金の額などを基礎として計算した積立限度額以下の金額を必要経費（個人）又は損金（法人）に算入する。農業経営基盤強化準備金の経理については、損金経理方式と剰余金処分経理方式の2通りある。

損金経理方式による場合は、農業経営基盤強化準備金の積立額を（ ② ）（費用）の借方に記帳するとともに、農業経営基盤強化準備金勘定（負債）の貸方に記帳する。

剰余金処分経理方式による場合は、農業経営基盤強化準備金の積立額を（ ③ ）（純資産）の借方に記帳するとともに、農業経営基盤強化準備金勘定（純資産）の貸方に記帳する。

【選択肢】

	①	②	③
1	白色	農業経営基盤強化準備金繰入勘定	資本金勘定
2	青色	農業経営基盤強化準備金繰入勘定	繰越利益剰余金勘定
3	白色	農業経営基盤強化準備金戻入勘定	資本金勘定
4	白色	農業経営基盤強化準備金繰入勘定	繰越利益剰余金勘定
5	青色	農業経営基盤強化準備金戻入勘定	繰越利益剰余金勘定

問題 16

次の〔資料〕は某農事組合法人の定款（抜粋）である。第40条第2項及び同条第3項について、それぞれの文章が示す配当を〔語群〕から選択し、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔資料〕 定款（抜粋）

第7章 会計

（配当）

第40条 この組合が組合員に対して行う配当は、毎事業年度の剰余金の範囲内において行うものとし、組合員がその事業に従事した程度に応じてする配当及び組合員の出資の額に応じてする配当とする。

2 事業に従事した程度に応じてする配当は、その事業年度において組合員がこの組合の営む事業に従事した日数及びその労務の内容、責任の程度等に応じてこれを行う。

3 出資の額に応じてする配当は、事業年度末における組合員の払込済出資額に応じてこれを行う。

〔語群〕

イ 従事分量配当 □ 利用分量配当 ハ 出資配当

【選択肢】

- | | | | | |
|----|-----|---|-----|---|
| 1. | 第2項 | イ | 第3項 | □ |
| 2. | 第2項 | イ | 第3項 | ハ |
| 3. | 第2項 | □ | 第3項 | ハ |
| 4. | 第2項 | □ | 第3項 | イ |
| 5. | 第2項 | ハ | 第3項 | □ |

問題 17

次の〔取引〕のうち、「価格補填収入」勘定に計上される金額を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

〔取引〕

- A 過年度の販売収入の減少を補填する米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の補填金 200,000 円の交付を受けた。
- B 農業用機械を取得するため国庫補助事業の交付金 1,500,000 円の交付を受けた。
- C 標準的販売価格が標準的生産費を下回ったことにより、肉用牛肥育経営安定特別対策補填金（牛マルキン）300,000 円の交付を受けた。
- D 農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するための中山間地域等直接支払制度による交付金 150,000 円の交付を受けた。

【選択肢】

- 1. 200,000 円
- 2. 300,000 円
- 3. 500,000 円
- 4. 650,000 円
- 5. 2,000,000 円

問題 18～25

米と野菜を生産する農事組合法人みのりのR3年1月1日からR3年12月31日までの会計期間について、次の〔資料1〕〔資料2〕に基づいて、以下の設問に答えなさい。なお、当社は原価計算制度を採用していない。

〔資料1〕決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表		
農事組合法人みのり	R3年12月31日	(単位:円)
221,351	現金	
19,225,638	普通預金	
3,221,184	製品	
2,160,114	仕掛品	
322,000	仮払法人税等	
8,000,000	仮払配当金	
23,200,000	建物	
15,420,000	機械装置	
1,780,000	器具備品	
5,210,000	土地	
	減価償却累計額	8,356,700
	買掛金	2,130,595
	未払費用	319,450
	長期借入金	20,400,000
	農業経営基盤強化準備金	6,500,000
	資本金	5,000,000
	繰越利益剰余金	21,736,421
	製品売上高	56,383,451
2,168,114	種苗費	
7,890,450	肥料費	
8,180,115	農薬費	
1,120,458	諸材料費	
5,950,451	作業委託費	
1,190,191	動力光熱費	
803,280	共済掛金	
7,830,410	農地賃借料	
3,600,000	役員報酬	
1,150,210	販売手数料	
721,181	図書研修費	
1,250,450	地代家賃	
	受取利息	2,408
213,428	支払利息	
120,829,025		120,829,025

〔資料2〕 決算整理事項

(1) 棚卸資産の期末棚卸の状況は、以下のとおりである。なお、棚卸資産の決算整理は、総額法による。

棚卸資産	総額
未収穫の野菜にかかった費用	2,290,163 円
収穫した米の在庫	3,490,425 円

(2) 農作物の生産の助成を目的とする交付金 4,200,000 円を未収計上する。この交付金は、農業経営基盤強化準備金の対象となるものであり、決算整理において全額を農業経営基盤強化準備金として積み立てる。

(3) 本年において、農業経営改善計画に基づく機械装置 C の取得をし、対価として 4,420,000 円を支払った(資産計上済)。この機械装置 C の取得に伴い、農業経営基盤強化準備金 4,420,000 円を取り崩すが、会計処理は未済であるため、決算整理において取り崩しを行う。

(4) (3) の機械装置 C について、直接減額方式により、農業経営基盤強化準備金取崩額相当額の圧縮損を計上する。

(5) 以下の減価償却に関する情報をもとに、間接法により減価償却費を計上する(1 円未満端数切捨)。なお、固定資産はすべて製造の用に供する資産であり、期中に除却した資産はない。

【減価償却に関する資料】

固定資産	取得価額	取得年月日	償却方法	償却率	期首減価償却累計額	当期償却額
建物 A	23,200,000 円	H25 年 3 月 10 日	定額法	0.033	5,997,200 円	()
機械装置 B	11,000,000 円	R2 年 4 月 15 日	定率法	0.286	2,359,500 円	()
機械装置 C	4,420,000 円	R3 年 4 月 1 日	定率法	0.286	—	()
器具備品 D	1,780,000 円	R3 年 6 月 7 日	定率法	0.200	—	()

(6) 動力光熱費の未払いが、119,000 円ある。

(7) 共済掛金の前払いが、68,000 円ある。

(8) 決算において、法人税等の年税額が 708,000 円と確定した。

製造原価報告書

農事組合法人みのり 自 R3 年 1 月 1 日 至 R3 年 12 月 31 日 (単位：円)

I 材料費

種 苗 費	2,168,114	
肥 料 費	7,890,450	
農 薬 費	8,180,115	
諸 材 料 費	1,120,458	()

II 経 費

作 業 委 託 費	5,950,451	
動 力 光 熱 費	(ア)	
共 済 掛 金	(イ)	
農 地 賃 借 料	7,830,410	
減 価 償 却 費	(ウ)	()
当 期 総 製 造 費 用		()
()		()
計		()
()		()
当 期 製 品 製 造 原 価		()

問題 18 上掲の製造原価報告書の空欄 (ア) と (イ) を計算し、その合計額として正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,925,471 2. 1,993,471 3. 2,044,471 4. 2,112,471 5. 2,180,471

損益計算書

農事組合法人みのり

自 R3 年 1 月 1 日 至 R3 年 12 月 31 日

(単位：円)

I	売 上 高		
	1. 製 品 売 上 高		()
II	売 上 原 価		
	1. (エ)	(オ)	
	2. ()	()	
	計	()	
	3. (カ)	(キ)	()
	売 上 総 利 益		()
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
	1. 役 員 報 酬	3,600,000	
	2. 販 売 手 数 料	1,150,210	
	3. 図 書 研 修 費	721,181	
	4. 地 代 家 賃	1,250,450	()
	営 業 利 益		()
IV	営 業 外 利 益		
	1. 受 取 利 息	2,408	
	2. (ク)	(ケ)	()
V	営 業 外 費 用		
	1. ()		()
	経 常 利 益		()
VI	特 別 利 益		
	1. (コ)		(サ)
VII	特 別 損 失		
	1. ()	()	
	2. ()	()	()
	税 引 前 当 期 純 利 益		()
	()		()
	当 期 純 利 益		()

問題 19

上掲の損益計算書の空欄 (オ) と (キ) を計算し、(エ) ~ (キ) の表示科目または金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | |
|-----------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. (エ) 期首製品棚卸高 | (オ) 3,490,425 | (カ) 期末製品棚卸高 | (キ) 3,221,184 |
| 2. (エ) 期首材料棚卸高 | (オ) 3,221,184 | (カ) 期末材料棚卸高 | (キ) 3,490,425 |
| 3. (エ) 期首仕掛品棚卸高 | (オ) 2,160,184 | (カ) 期末仕掛品棚卸高 | (キ) 2,790,114 |
| 4. (エ) 期首製品棚卸高 | (オ) 3,221,184 | (カ) 期末仕掛品棚卸高 | (キ) 3,490,425 |
| 5. (エ) 期首製品棚卸高 | (オ) 3,221,184 | (カ) 期末製品棚卸高 | (キ) 3,490,425 |

問題 20

上掲の損益計算書の空欄（ケ）と（サ）を計算し、（ク）～（サ）の表示科目または金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | |
|-----------------------|---------------|--------------------|---------------|
| 1. (ク) 作付助成収入 | (ケ) 4,200,000 | (コ) 農業経営基盤強化準備金戻入額 | (サ) 4,420,000 |
| 2. (ク) 作付助成収入 | (ケ) 4,200,000 | (コ) 農業経営基盤強化準備金戻入額 | (サ) 4,200,000 |
| 3. (ク) 農業経営基盤強化準備金繰入額 | (ケ) 4,200,000 | (コ) 作付助成収入 | (サ) 4,200,000 |
| 4. (ク) 価格補填収入 | (ケ) 4,200,000 | (コ) 農業経営基盤強化準備金戻入額 | (サ) 4,420,000 |
| 5. (ク) 作付助成収入 | (ケ) 4,420,000 | (コ) 農業経営基盤強化準備金戻入額 | (サ) 4,420,000 |

貸借対照表

農事組合法人みのり

R3年12月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金預金	19,446,989	1. 買掛金	2,130,595
2. (シ)	(ス)	2. 未払費用	()
3. (セ)	(ソ)	3. 未払法人税等	()
4. ()	(タ)	流動負債合計	(テ)
5. ()	(チ)		
6. 仮払配当金	8,000,000	II 固定負債	
流動資産合計	()	1. 長期借入金	20,400,000
II 固定資産		2. ()	(ト)
1. 建物	()	固定負債合計	()
2. 機械装置	(ツ)	負債合計	()
3. 器具備品	()	純資産の部	
4. 土地	5,210,000	I 株主資本	
5. 減価償却累計額	()	1. 資本金	5,000,000
固定資産合計	()	2. 利益剰余金	
		(1)その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	()
		利益剰余金合計	()
		純資産合計	()
資産合計	()	負債・純資産合計	()

問題 21 上掲の貸借対照表の空欄（ ス ）と（ ソ ）を計算し、（ シ ）～（ ソ ）の表示科目または金額の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | | |
|----|--------|--------------|--------|--------------|
| 1. | （シ）製品 | （ス）3,221,184 | （セ）仕掛品 | （ソ）2,160,114 |
| 2. | （シ）仕掛品 | （ス）3,490,425 | （セ）製品 | （ソ）2,290,163 |
| 3. | （シ）原材料 | （ス）2,290,163 | （セ）製品 | （ソ）3,490,425 |
| 4. | （シ）製品 | （ス）3,490,425 | （セ）仕掛品 | （ソ）2,290,163 |
| 5. | （シ）仕掛品 | （ス）2,290,163 | （セ）製品 | （ソ）3,221,184 |

問題 22 上掲の貸借対照表の空欄（ タ ）と（ チ ）を計算し、その合計額として正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 4,081,000 2. 4,200,000 3. 4,268,000 4. 4,522,000 5. 4,590,000

問題 23 上掲の製造原価報告書の空欄（ ウ ）と、上掲の貸借対照表（ ツ ）を計算し、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | |
|----|--------------|---------------|
| 1. | （ウ）3,414,783 | （ツ）11,000,000 |
| 2. | （ウ）3,444,449 | （ツ）11,000,000 |
| 3. | （ウ）3,592,783 | （ツ）11,000,000 |
| 4. | （ウ）4,119,266 | （ツ）11,000,000 |
| 5. | （ウ）4,392,539 | （ツ）15,420,000 |

問題 24 上掲の貸借対照表の空欄（ テ ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 2,768,045 2. 2,836,045 3. 2,955,045 4. 3,157,045 5. 3,277,045

問題 25 上掲の貸借対照表の空欄（ ト ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 2,080,000 2. 6,280,000 3. 6,500,000 4. 6,720,000 5. 10,700,000